

## 平松さんと私

—模範生—

グループM、金 珍昱（キム ジンウク）

### 1. 平松さんの印象

初めてこの授業を通して、平松さんと知り合いました。関西から医学を学ぶためにこんな遠い場所まで来ているのか凄かったです。地元が大阪とする前に口から話す言葉が訛っていたので、すぐ関西出身と思い浮かびました。そして、グループの名前を決める時です。最初、みながよく知らず、話かけにくいときです。平松さんは一番先に話を出して、グループ名をどうするか話してくれました。そして、僕は平松さんを初対面で知らない人と良く話せる人だと思いました。そして、あの時、グループ活動の時間を決めたときも、自分で時計を確認しながら、グループをリーダしていました。その姿を見て、平松さんはリーダーシップを持っている人だと思いました。そして、趣味は野球で中学生からやってきて、とっても、運動が好きで、活発な人だと思いました。二人が医学部に所属しているため散歩の時間に大学病院に行きました。そして、寿司店に行ったとき、あの時に僕は平松さんがワサビを食べられないのを知りました。あの時、平松さんは間違っってワサビが付いている寿司を注文してしまいました。そこで、頑張って食べている時に苦しい姿を見せてくれて、僕はとっても面白くって写真を撮りました。この写真を再び観たら、さすが、平松さんはリアクションが多くて、周りの人たちを面白くさせる人だと思いました。

### 2. 特に聞きたいテーマ：秋田大学まで

特に聞きたいことは今までどのような経験を通して秋田大学に来たというでした。なぜなら、僕は高校時代の時、色々考えながら、決めてきたけれど、自分の意志とは違い、成績が足りなかったため、今の電子を専攻しています。平松さんは高校の時はエネルギーの事を専攻したいと考えてそうですが、2年生の時に医者になりたいと思って、秋田大学に来たと話してくれました。どんな事があって、医者になりたいのか考えたのかも聞きたいと思います。そして、競争率が高い医学部に入学した平松さんにどのような方法で勉強してきたのかと聞きたいです。なぜなら、僕もこれから日本で進学を希望している事です。

### 3. 話し合い結果

#### 3. 1 6月6日の話し合い

初めて、インタビューを教室で話しました。平松さんは積極的にインタビューに堂々と答えてくれました。だけど、話が苦手な私は自ら何を聞けば、何をすれば良いのか、全

然思い浮かべませんでした。そして、印象文を書いたのを確認しながら話しました。そして、平松さんが悩んだ後に口を開いてくれました。「全て事実にあって、これを近いか遠いかは言えない。」それを聞いて、凄く悩みました。「ウックんの言うことは全て事実の事であって考えを言ってない。」と思い、どんな方法であれば良いのか、考えて、考えてもしようがないので、困っていました。この瞬間、平松さんが「この授業は相手の印象、性格などを調べて行くものだから、この人の姿、行動を見て、どんな人か分析するものだけど、今、ウックんは見えるものをそのまま書いて、自分の意見を書いてない。」と親切に教えてくれました。あの時、平松さんは私のために深く考えてくれました。そして、どうすれば良いか分からないから、簡単な事から事情調査を始めました。「今、医学部なんですけど、いつから医者になると思いましたか?」、そこで平松さんは述べました。元々はエネルギー系の仕事をする目標であったが、高校の時、職業の体験があって、医者の体験をしてから、自分の力で人の命を救おうと思い始めたと言いました。そして、保険の授業の時、癌について、聞いた後に癌を自分で治したいという、強い思いを抱いて、臨床医学を一人で色々調べて、勉強をし始めたと聞きました。そして、これからは平松の人柄をちょっと探して見ようと思い、部活について聞きました。中学生から野球部を始めたと言いましたが、この理由について、聞いたところ、友達に誘われて、始めたと言って、私は「平松さんは学生時代、自分の自我にはやりたい事など、意志は無かったのか、内向的な人か?もしかして、うつ病かしら?」と思いました。続いて、中学生から現在大学まで、野球部をしているので、運動が好きで、この中でも野球がよっぽど好きな人だと分かりました。私はあまり苦手だし、汗をかくのが嫌いで、日差しに弱いのでなるべく、外しませんが、スキー、スノーボードとかは面白いと思って楽しんでいます。「何が面白くてそんなに野球にこだわりがあるか?」と思いました。時間がないため、最後に質問をしました。「どんなタイプが好きですか?」この時、平松さんは大笑いしたんですが、「自分がうきうきするタイプで、ぺちゃくちゃ喋る人も嫌いし、気がきいて清楚な人が好い。」とすなおに対応してくれました。それを見て、平松さんは自身をあんまり隠さなくて、素直に話してくれる人かと思いました。私も同じか清楚か、純粋な人が好きです。そうして、大した話は進んでなかったと思いますが、終わりました。

### 3. 2 6月20日の話し合い

最初はなぜ医学部に来たのかだけを書くと思っていました。だけど、その話だけでは短くて、範囲を広げ、小学校からどんな自我を持って、どんな生き方をしてきたのかについて話し始めました。小学校から何か担当した事があるから聞きました。生徒代表をしたと言いました。それで、子供から、積極的で随分明るかったのかな?前のインタビューで受動的な人だと思いましたが、何か前の話とギャップがあるじゃないか?事情調査を行いました。

た。そうした結論、平松さんがそれは私の平松さんに対する印象が悲観的すぎる主張しました。そして、私は逆に認めて、是認しました。「そうか、悲観的に取り上げたのを酷かったと思い、肯定的に考えはじめました。」それをみて、平松さんは自分に悪いことを言われ続けても、我慢して、笑いながら、一つ一つ応じているのを見て、平静を保って器が大きい人だなあ、と思いました。それから、中学校でも生徒代表として、深くは分からないけど、回りをリードするのが上手と思いました。それから、なぜ、リアクションがデカイのかという疑問を持ちました。その理由について、聞いたら、予想通り、生徒代表と繋がって、幼いころから、友達とか一緒に居るとき、健やかに、なごやかに、盛り上げるためと言っていました。それを考えると「結構、子供の頃から周りを考えて上手く付き合っているかなあー」と思いました。それで、ちょっとイメージが変わって来て、終わりました。

#### 4. まとめ

平松さんにとって、このテーマは自分の人生を今の時点で、振り返って見る機会が成ったと思います。自分が人目知りだと言っています。こんな短所を持っているとは思わないほど、小学校から成績も優秀で、生徒代表もするほど、積極的で、運動も好きで、ずっと、野球部を続けているし、周りとうまく付き合うため、リアクションもしっかり取って、模範生の様な存在です。最初、私は単純に頭が良い人だと思いましたが、大間違いでした。今は積極的で、運動も好きで、勉強も上手で、更に周りを考えてあげる、他人に模範になる人だと思いました。これからは私も平松さんの様に模範のような人になれたらと考えています。

#### 5. 授業を終えて

##### 5. 1 文化、コミュニケーションとは何か

文化は生まれた場所による、独特な言葉、環境、行き方などと思います。次にコミュニケーションはその文化による、お互い間、違い差を偏見を持たないし、特徴を認め、交ぜ合うことが出来る事と思います。

##### 5. 2 授業について

この授業を通して、最初の説明ように多くの人とは知り合えなかったですが、グループの4人でずっと振り合えながら、話し続けて来ながら、もっと少し深く分かり合うようになりました。そして、終りにグループの名のように海の日、皆とお好み焼きを食べながら、最後の打ち上げを一方先に遣りました。今までの事を結び付きながら、仲良くなる機会がなったと思います。